

灘中・海陽中・岡白中など続々合格!

速読生

加藤 智久 くん

灘中・洛南中・愛光中・
岡山白陵中 合格!

【受講前】1905文字/分 ▶【受講後】2300文字/分

特にどの教科に役立ったか 国語・数学・理科

- 文章を速く読めたため、わからない問題を解くための時間や、見直す時間が増え、一問一問確実に取ることができた。(本人)
- 速読でいいと思う点は2点ある。問題の設問を①早く読めること。②正確に読めることである。それにより、問題を解く時間が増え、ケアレスミスが少なくなった。このように速読を続けることで、自分の実力が向上し、自信が持てた。(本人)
- 自分がやってきたことに無駄はなかったという自信を持って試験に臨もう。(本人)
- 読書スピードが上がり、成人用と思われる本も軽く読んでいました。(例)「海賊と呼ばれた男」「オーファーマー」「三国志」など(母)

難波ジョア 賢三 くん

海陽中・就実HG・
朝日塾Ⅲ類S 合格!

【受講前】1531文字/分 ▶【受講後】3033文字/分

特にどの教科に役立ったか 国語

- 余裕がない中でも文章を早く読めたことによって、自信を持って解答が書けました。(本人)
- 速読を受講したことで、文字に慣れ、頭の中の情報がコントロールしやすくなりました。(本人)
- 弱点を何度も繰り返せば得意になって行くのと同じで、速読も長く続けるほど効果が上がります。ですから、やればやるほど文字にも慣れ、勉強しても慣れていきます。(本人)

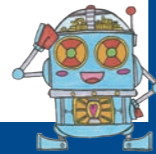
中 聡子 さん

岡山白陵中・岡中東医・
就実HG・朝日塾Ⅲ類S 合格!

【受講前】1204文字/分 ▶【受講後】1706文字/分

特にどの教科に役立ったか 国語・理科

- 文章を速く読めたので、問題を解く時間が長くなり、一つ一つの問題をじっくり考えることができた。(本人)
- 理科は問題文がとても長かったので、速く読めたおかげで問題が落ち着いて解けました。(本人)
- 国語も長い文を読まないといけなかったため、速読をするようになってから読み間違いも少なくなり、速く読めるようになりました。(本人)
- 速読をすると、文章を速く正確に読めるので、とても入試に役立ちます。問題を考える時間も長くなります!(本人)



速く正確に読むことを制する者は、

受験を制す!

by 速ドッグ



小島塾長が語る。速読の魅力。

合格の必須アイテムは「速く、正確に読む」こと。

岡山県の中学入試国語の文字総数は10,000字前後。天声人語が600字ですから、その17倍もの文章を小学生が読んで、小問約30題を60分で解答することが求められています。問題をまったく読まないとしても1問2分、問題を読むのに30分かかれば1分で解かなければならない計算になります。考えさせる問題が増えている現状からすれば大人でも至難の業です。「速く、正確に読む」ためのベストツールこそ「速読」なのです。

塾長 小島達也



こんなキミには速読がおすすめ!

- 集中力が長続きしない
- ノートをとるのが苦手
- 宿題に時間がかかる
- テストになると緊張する
- 暗記が苦手
- 特技がない
- 自己PR書に書くことがない
- ゲームが好き



お問い合わせ

朝日塾 宙 SOLA

☎ 086-255-5400

詳しくは朝日塾 宙 Webサイト↓

朝日塾 宙 検索 www.sola-e.net

まずは、無料体験を!

速読体験無料クーポンを利用して、朝日塾宙SOLAで無料体験にご参加ください。スタッフがパソコンを利用して、実際のトレーニングをご説明いたします。

速読体験 無料クーポン



朝日塾 宙 SOLA

頭の体操 脳トレ

2枚の絵にはちがうところが8つあるよ。
見つけられるかな?



どうして速読ができるようになるの？

元々備わっている脳の2つの性質を利用します。
したがって、トレーニングすれば誰でも読書速度を伸ばすことができます。

【脳の性質① 可塑性】

外部からの刺激に柔軟に対応する性質のこと。速読トレーニングにおける外部からの刺激は「スピード」。

可塑性の例

一般道路 → 高速道路 → 一般道路

いつもの景色 → 景色が速く流れる → 景色がゆっくりに見える

【脳の性質② 汎化作用】

一つの能力が向上すると、それに関連するほかの能力も向上する性質のこと。

どんな効果があるの？

学習の基礎を構築! 授業内容を理解し「聞く・読む・書く」など、学習の土台を作ることができる!

学習効率のUP! 読書速度が上がると学習効率もUP!学習量の蓄積と定着にもつながる!

テストに役立つ! 速読力で、試験時間を有効的に使うことができる!ケアレスミスも防げる!

どんなトレーニングをするの？

速読のトレーニングはパソコンを利用して行います。
まず、眼筋を鍛えてから、高速で進む文章を目で追っていきます。
入試でよく利用される文章を使ってトレーニングをすることができます。

眼筋トレーニングで眼球を支えている6つの筋肉をやわらかくし、ほぐします。

高速で流れる文章を目で追うことで、新しい速読の読み方を習得していきます。

制限時間を設定したトレーニングで瞬間的に正解を見極める訓練をします。

画面上の文字や画像を注視するトレーニングを繰り返し、集中力を高めます。

速読で処理能力UP!ライバルに差をつけよう!

入試問題「読む」時間配分一覧

読書速度が速い人ほど処理能力が高く、試験時間を有効に使えます。
合否を左右する1点を、速読トレーニングで勝ち取りましょう。

★日本人の平均読書速度…約400~600文字/分
★東大合格者の平均読書速度…約1500~1800文字/分

主な中学入試国語の字数(概数)

※H26年度入試より

学校名	文字数	試験時間	読書速度	
			500字/分	1500字/分
岡山白陵中学	9,000	60分	36分	12分
岡山中学(B日程)	8,400	60分	34分	11分
岡山県立大安寺中等	3,800	45分	15分	5分
愛光学園中学	12,600	60分	50分	16分
西大和学園本校男子	12,200	60分	48分	16分
灘中学2日目	6,900	70分	27分	9分

※文字数は国語の試験問題で計算しています。※読む時間は読み直しや答えの検索などを考慮し、文字数を2倍で計算しています。

読書速度レベルによる時間配分の違い

例:東海中と滝高の試験時間配分は…

読書速度 **500文字/分** の場合

試験時間 50分	不足
読む 39分	解く 11分
不足 19分	

読書速度 **1500文字/分** の場合

試験時間 50分	見直し 7分
読む 13分	解く 30分

自分の読書速度を
あてはめてみよう!

試験時間 <input type="text"/> 分	不足
読む <input type="text"/> 分	思考+解く+記入 <input type="text"/> 分
見直し <input type="text"/> 分	

文字数÷読書速度(分)×2 試験時間×0.6

さまざまな試験において、試験時間全体の約6割が
“思考+解く+記入”に必要な時間とされています。



速度を上げることで、ただ速く読めるだけでなく、
制限時間を味方にすることができます。